

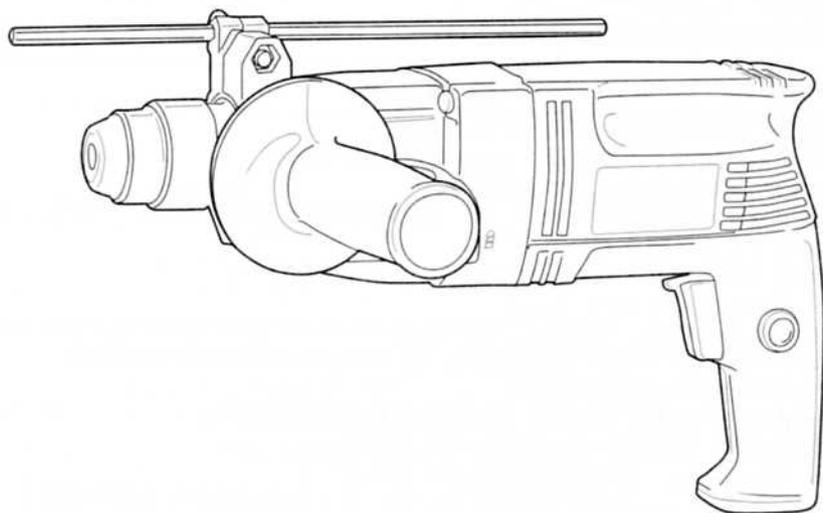
RYOBI®

ハンマドリル

ED-220VR

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1～4
- ・各部の名称 4
- ・仕様、付属品、用途 5
- ・別販売品 5
- ・操作方法 6～8
- ・別販売品について 8～10
- ・保守と点検 10～11



二重絶縁

6983751

このたびは、リョービハンマドリルをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率良くお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分にご理解の上で正しく、安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的な点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはヨロビ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的な点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部分がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

- ・可動部分の位置調節および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所にも異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
 - 取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

ハンマドリルご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルをご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

△ 警 告

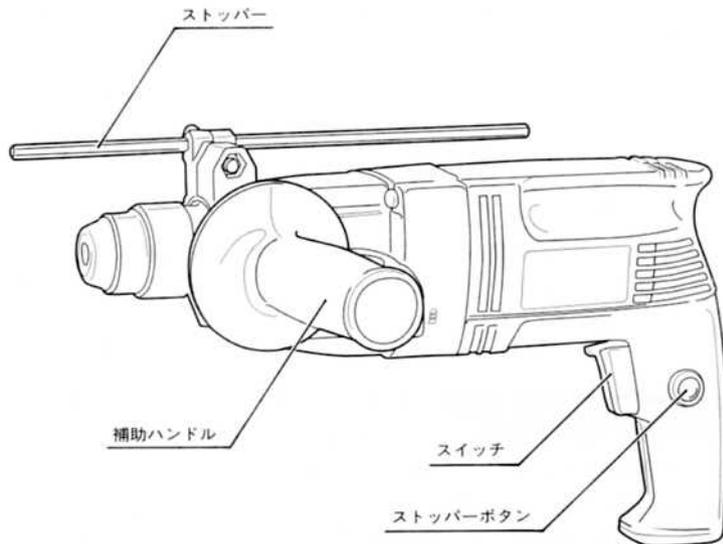
1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめください。
 - ・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用中、振回されないように補助ハンドルを付け、本体を両手で確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、工具類や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
5. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂・変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂・変形があると、けがの原因になります。

7. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、粉じん対策をしてください。
8. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

△ 注意

1. 工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
4. 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
5. 作業直後の工具類は高温になっているので、触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。
6. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
7. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。

■各部の名称



■仕様

- 電源 …………… 単相100V 50/60Hz
- 電流 …………… 5.7A
- 消費電力 …………… 520W
- 回転数 …………… 0~1,000R.P.M.
- 打撃数 …………… 0~4,200回/分
- 穴あけ能力
 (コンクリート) …………… 22mm
 (鉄工) …………… 13mm
 (コアビット使用) …………… 65mm
- 本体長さ …………… 320mm
- 本体重量 …………… 2.3kg
- 絶縁方式 …………… 二重絶縁

■通常付属品

- キャリングケース、補助ハンドル、
 ストッパー、ビット用グリス、
 工具ボックス。

■用途

- コンクリート、ブロック、タイル等の
 穴あけ。
- アンカー下穴の穴あけ。
- 木材、鋼材等の穴あけ (回転のみ)

■別販売品

- コンクリートビット (mm)

径	全長	径	全長	径	全長
4.0	110	8.0	166	14.3	170
4.8	116	8.5		14.5	
5.0		10.0		16.0	
6.0		10.5		17.5	
6.5		11.0		18.0	
7.5		12.0	170	22.0	
6.4	166	12.5	170		
6.5		12.7			

- テーパーシャンクドリル (mm)

外径	全長	モルステーパ-
11	120	No. 1
12		
12.5		
14.3		
16	140	No. 1
17.5		
21.5	160	

- テーパーシャンクアダプター
- コッター
- ドリルチャック
- ドリルチャックアダプター
- チャックハンドル
- SDSハンマアタッチメント
- SDSブルポイント
- SDSコールドチゼル
- SDSスケーリングチゼル (8mm)
- SDSスケーリングチゼル (50mm)

■操作方法

●スイッチの扱い方



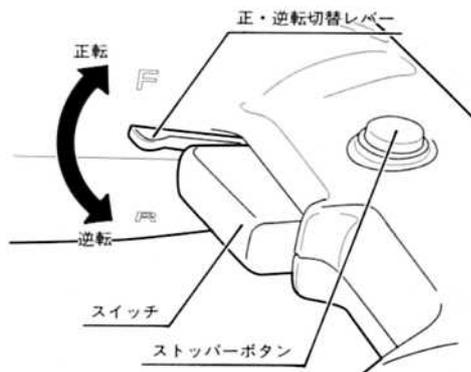
・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

(スイッチと変速)

- スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離すと切れます。
- 回転数はスイッチの引き具合により0～1,000R.P.M.の範囲で調整できます。
- スイッチを引いた状態で握部側面にあるストッパーボタンを押すと、スイッチから指を離してもスイッチは入った状態になります。この場合、再度スイッチを引くとストッパーボタンが外れ、スイッチは切れます。

(正転・逆転切替)

- スイッチ部の正逆切替レバーを(F)側にすると正転(右回転)、(R)側にすると逆転(左回転)になります。
- 正転・逆転の切替はスイッチを切り、ドリルの回転が止まるのを確認してから行ってください。

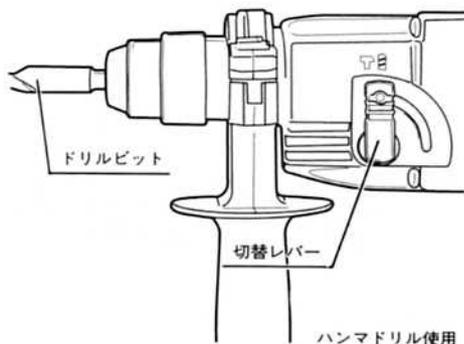


●ハンマドリル、ドリルの切替

- 切替レバーを90°回転操作することにより、ドリルとしてもご使用いただけます。

(ハンマドリル使用)

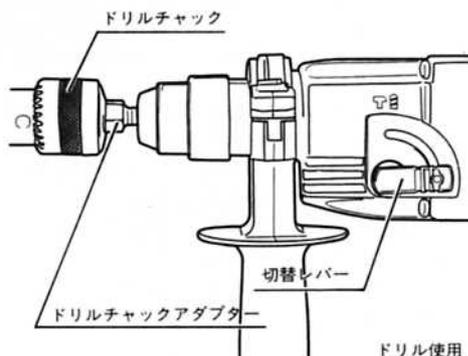
- 切替レバーの矢印を上(↑)側に合わせてください。回転+打撃作用を持ちハンマドリルとしてご使用いただけます。



(ドリル使用)

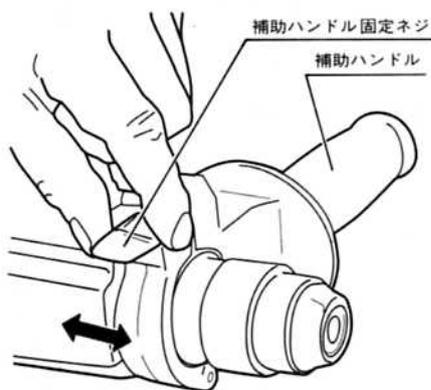
- 切替レバーの矢印を後(左)側に合わせてください。回転作用のみとなります。※木材、鋼材などの穴あけに使用できません。

(ドリルチャック、ドリルチャックアダプター、チャックハンドルが必要です。)



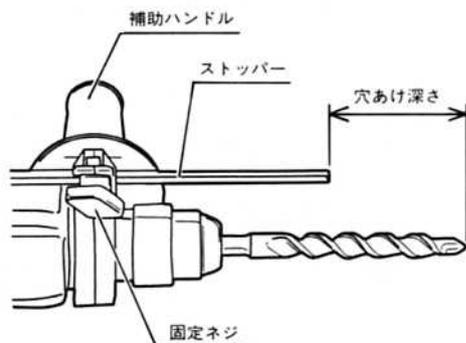
●補助ハンドルの位置調整

- 補助ハンドルは、作業姿勢に合わせ、角度調整を行なってください。
- 角度調整は、補助ハンドル固定ネジをゆるめ、少しホルダーリング側に引出して角度を合せます。次に補助ハンドルの凹部を取付け位置の凸部に確実に押し込み、固定ネジで締付けます。



●ストッパーの使用

- 一定深さに多数の穴あけを行なう場合には、ストッパーをご使用になりますとスピーディーに穴あけが出来、穴の深さが正確になります。
- ストッパーの調整方法は、補助ハンドルについている固定ネジをゆるめ、穴の深さに応じてストッパーを調節した後固定ネジでしっかりと締付けてご使用ください。

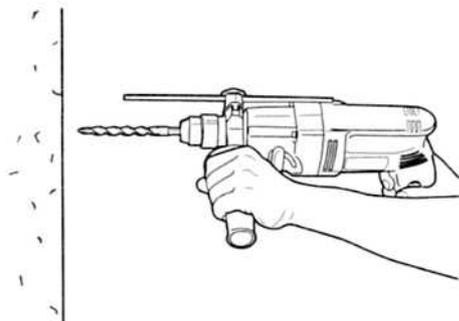


●穴あけ方法



- ・使用中は、振回されないよう本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・使用中は回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。

- コンクリートビットの先端を軽く穴あけ位置に当て、補助ハンドルと本機のハンドルを持ちしっかり固定した後スイッチを入れます。
- 本機の打撃性能は過度の押えつけと無関係ですから、強く押えつけても穴あけの作業能率は変わりません。必要以上に押えつけての使用はしないでください。



■別販売品について

●ビットの取付け、取外し



- ・刃物、ビット等の付属品を取付け、取外しするときは電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。



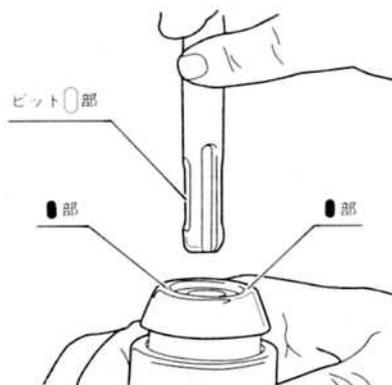
- ・刃物類(ビット)や付属品は取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないとはずれたりし、けがの原因になります。
- ・作業直後の工具類は高温になっているので、触れないでください。やけどの原因になります。

(コンクリートビット)

- コンクリートビットの脱着は、ホルダーリングを本体側に引いて行ないます。

(取付け)

- コンクリートビットを取付ける場合、コンクリートビットのシャンク部に別販売品のビット用グリスを少量塗ってから取付けてください。ビットの寿命を格段に長くするとともに、脱着がスムーズに行なえます。
- ホルダーリングを本体側に引き、コンクリートビットをさし込みます。この時、コンクリートビットの○部とホルダーキャップ前面の●部が一致する向きにして奥にあたるまでさし込んでください。

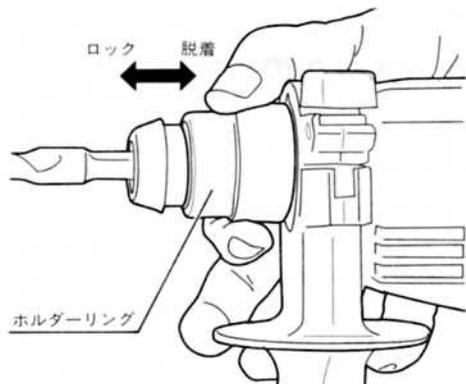


- コンクリートビットをさし込んだ後、ホルダーリングを元の位置にもどし、ロックします。

(注)コンクリートビットの○部とホルダーキャップの(●)が一致していない場合には、ロックできません。

(取外し)

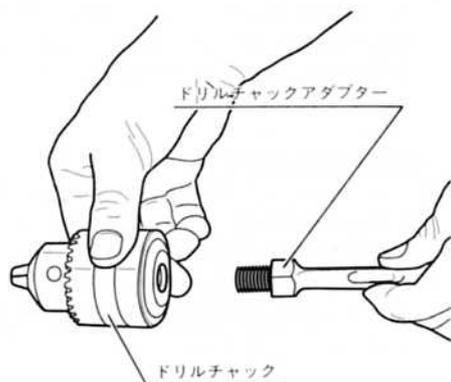
- ホルダーリングを本体側に引き、コンクリートビットを引抜いてください。



●ドリルチャック

(取付け)

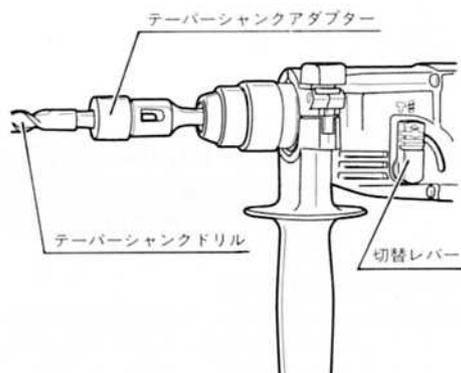
- ドリルチャックは木材、鋼材などに穴をあける時に使用します。切替レバーはドリル位置(2)で使用し、ハンマドリル位置(1)では絶対に使用しないでください。
- ドリルチャックとドリルチャックアダプターの取付けはネジ式になっていますので、ねじ込んでください。ドリルチャックアダプターの取付け方法は、コンクリートビットの取付け方法と同様に行なってください。



●テーパシャンクドリル

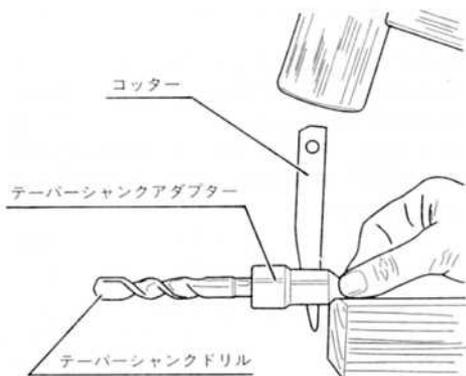
(取付け)

- 切替レバーをハンマドリル位置(1)でご使用ください。
- アンカー穴あけ用のテーパシャンクドリルを使う場合、テーパシャンクアダプターにテーパシャンクドリルをさし込み、テーパシャンクドリルの先端を木ハンマ、又は木材のような軟い材料で軽くたたき、取付けてください。
- 取付ける時、テーパシャンクドリルと、テーパシャンクアダプターのテーパ部分をよくふいて取付けてください。



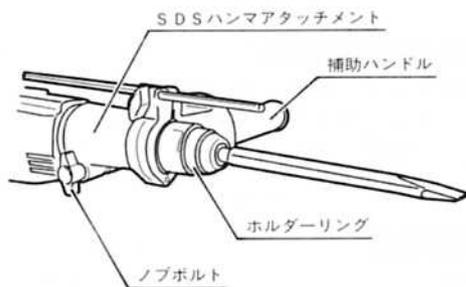
(取外し)

- テーパーシャンクドリルの取外しは、テーパーシャンクアダプター共々本機より取外した後、木材などの端にテーパーシャンクアダプターを置きます。次にテーパーシャンクアダプターの長穴部分にコッターをさし込み、コッターをハンマで打込みテーパーシャンクドリルを取外してください。



● SDSハンマアタッチメント

- 本機はSDSハンマアタッチメントを使用することにより、SDSブルポイント、コールドチゼル、スケーリングチゼルが取り付けられ、コンクリート等の破砕、はつり、溝切り等が行なえます。
- SDSハンマアタッチメントの取付けは、アタッチメント内側のシャフトを本機のビット取付穴に合わせて取付け、ノブボルトを締付けて固定します。



※ SDSハンマアタッチメントをご使用になる場合は、補助ハンドルは本体から外し、アタッチメントに取付けてご使用ください。

- ビットの取付けは、アタッチメントの取付穴にビットのシャンク部をさし込み、手で回しながら押込んでください。「カチ」と音がしてシャンク部が奥まで入り、固定されます。
- 取外しは、SDSアタッチメントのホルダーリングを本体側に引き、ビットを引き抜いてください。

■ 保守と点検



・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

● 刃物の交換

- 摩耗したビットをご使用になりますと能率が悪いばかりか、モーターに無理な力をかけることとなります。早めに交換してください。

● 各部取付けネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- 油汚れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●カーボンブラシについて

- 本機のカーボンブラシにはしゃ断ブラシを使用しており、カーボンブラシが寿命に達すると電源をしゃ断します。しゃ断ブラシの働きにより、動かなくなった場合は、定期点検とあわせてお買上げ販売店に依頼されることをおすすめします。

●給油方法

- 本機はグリスバック方式ですので、常時給油する必要はありません。カーボンブラシ交換時にあわせてグリス交換を行なってください。

●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れがあるところはさけてください。

●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし、正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社